

ICT活用への道

タブレットをこうして活用しています！第3弾

今月号は「阿品台中学校」です。

今年度、阿品台中学校では、「中学校英語におけるICTを活用した言語活動充実プロジェクト」の研究指定を受けています。

これは、ICT（電子黒板やタブレット端末）を効果的に活用することによって、英語教育の中で言語活動を充実させるとともに、生徒の英語力向上に向けた研究をする取組です。

授業参観にうかがった日の授業では、「Online Voice Recorder」というオンラインツールを使っていました。子ども達一人ひとりが、タブレット端末に内蔵されているマイクを使って自分の声を録音します。音声ファイルとして保存することができるので、繰り返し再生して自分の発音を確認することができます。子ども達は、「録音しては再生し」を繰り返し、発音を修正していました。従来であれば、発音をペアやグループの人に聞いてもらうことはできましたが、自分で聞いてみることを可能にすることができました。もちろん、ペアやグループの人に聞いてもらって、アドバイスを受けることも可能です。

今までにない方法を可能にして、その時に合った方法を選ぶことができるようになったことは、子ども達にとっても良いことだと思います。さらに、録音されたファイルは、Classroomで先生に提出していました。

授業の時間には限りがあって、先生が一人ずつの発音をその場で聞き取ると、1時間では終わらないことも予想されます。50分の授業時間内で、「子ども達が言語活動に取り組んでいる時間が多く充実している」、そういった授業でした。また、新たな評価方法や指導方法の可能性を感じました。

阿品台中学校

